｜背景と課題｜

■検討の経緯

本計画は、串本小学校と橋杭小学校を統合するとともに、津波浸水想定区域から学区内の高台へ移転する施設整備計画である。

南海トラフ地震に備え、串本町では、東日本大震災の教訓を踏まえ、公共施設を高台に移転する構想を立て、これまでに、病院、消防署、役場庁舎、こども園等を整備してきた。今回の学校施設の高台移転もこの構想の一つとして進めた。また、町内全ての小学校が単学級もしくは複式学級で編制されるなど少子化が顕著であり、串本小学校と橋杭小学校の統合後も、各学年20人程度の小規模校となる。

学校や地域の伝統及び文化、子どもたちや教職員の実情を十分に勘案し、これからの串本町の教育とそれを実現するための学校施設や施設環境を整備していくことが大切である。

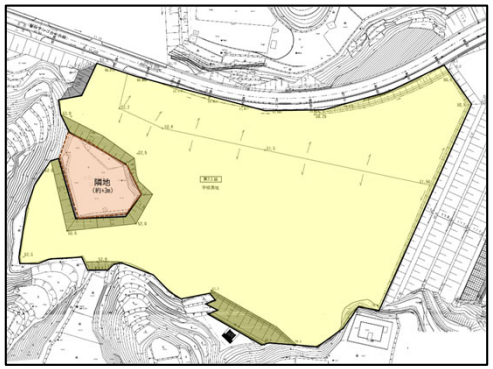
上記により、この度の整備計画においては小規模校であることや高台移転の構想、加えて2021年に中教審から答申された「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」を踏まえた学校施設の在り方について検討した。

学校や地域の伝統及び文化、子どもたちや教職員の実情を十分に勘案し、これからの串本町の教育とそれを実現するための学校施設や施設環境を整備していくことが大切である。

■周辺環境と課題

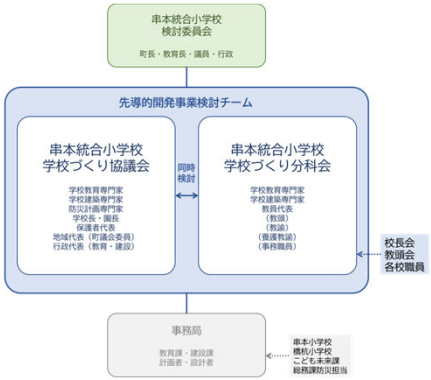
敷地は高速道路の延伸工事に伴って新たに造成された高台にあり、先行してくしもとこども園が道路を挟んで西側に建設された。現時点では南と東が山林、北が谷であり、住宅地等はやや離れた位置となり、統合小学校とこども園のみが立地している。学区域も広範囲となることからスクールバス及び保護者の送迎による通学が想定される。サンゴ台地区には町役場と集会所はあるものの、その他の公共施設はJR串本駅周辺にあるため、統合小学校が公共施設的役割を一定程度果たすことを想定している。

▲学校の位置



▲敷地図

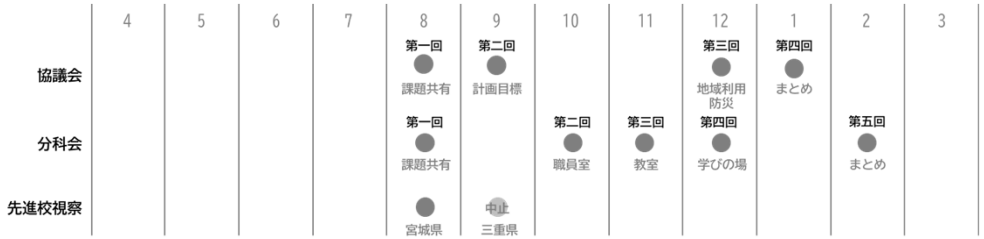
｜検討体制とプロセス｜



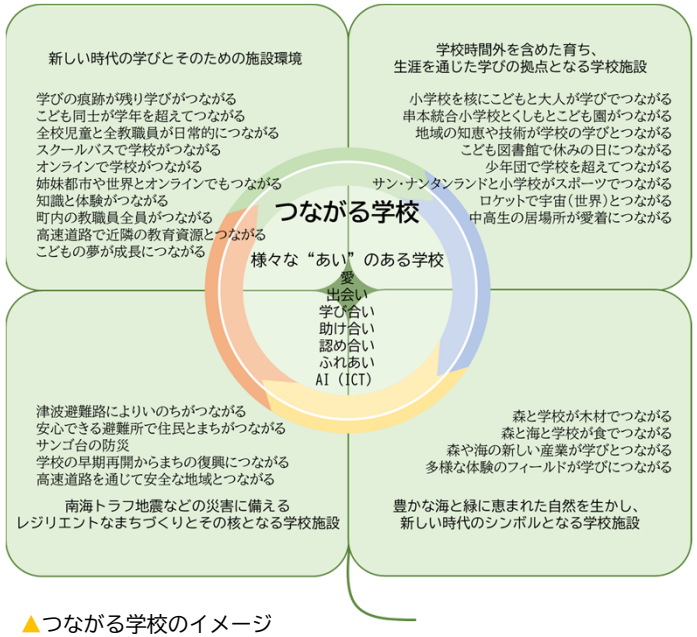
施設整備の基本計画の内容を検討するにあたり、学校、保護者、地域の代表を中心とした協議会、串本町全体の教職員代表を中心とした分科会の２つの会議を組織した。

学校建築、並びに地域防災の第一人者の指導助言や、串本町の教育に直接関わる指導主事の意見等を受けながら、教職員・保護者・地域の方々・行政関係者・計画者・設計者が協議を重ねた。

また、串本町の課題と検討状況が類似する２校を視察や、こども園を管轄する子ども未来課、防災を管轄する総務課も参画し、検討を行った。



｜目指す学校像　つながる学校｜



▲つながる学校のイメージ

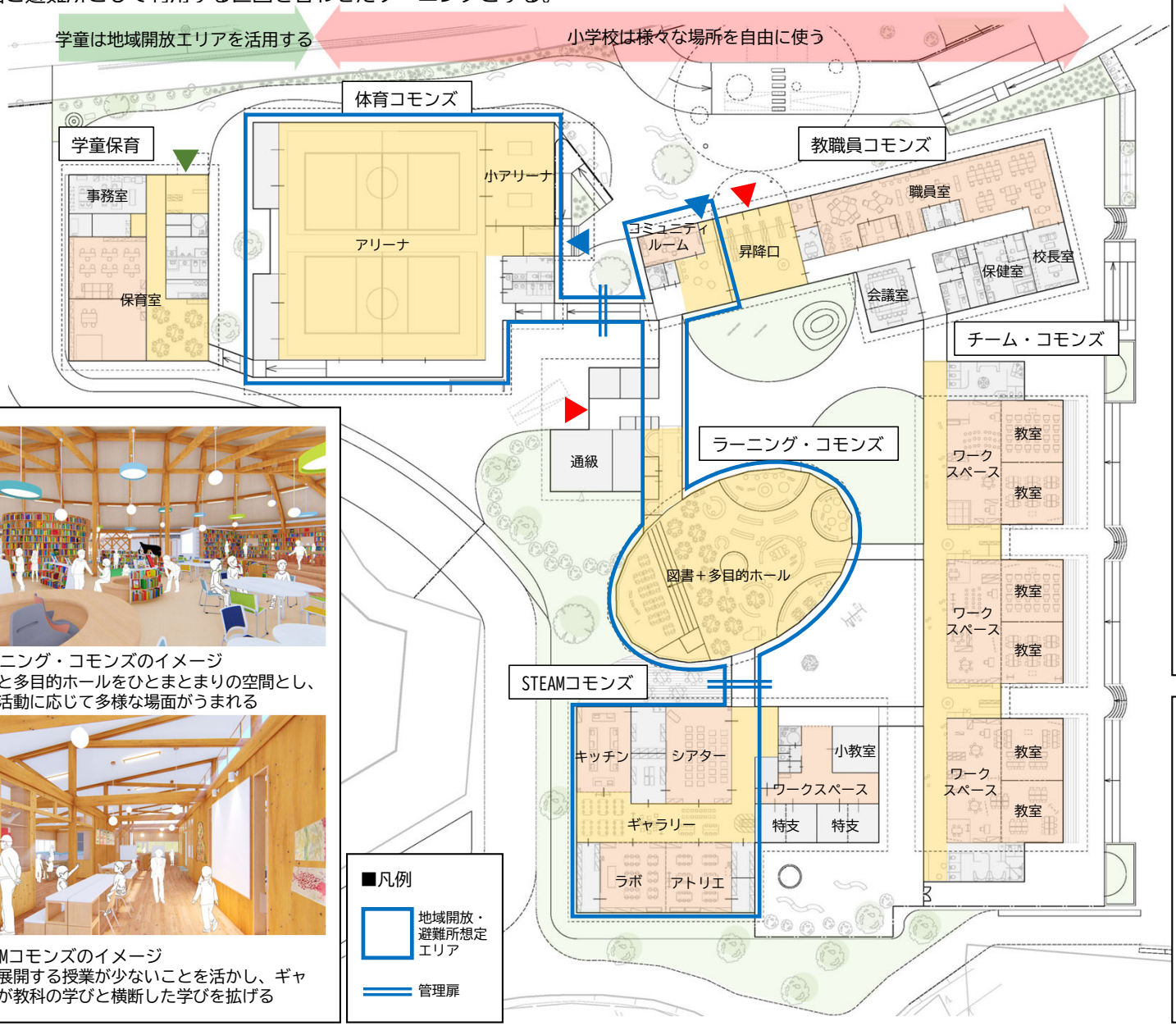
学校づくりの目標を「つながる学校」と定めた。

テーマとして掲げた４つのテーマが関わり合い、出会い、学び合い、助け合い、認め合い、ふれあいが生まれて（様々な“あい”のある学校）子どもたち、教職員、保護者や地域がつながる。

また、一緒の場所で活動するということに加えて、ICTにより遠隔でもつながる学校となる。

｜基本計画｜

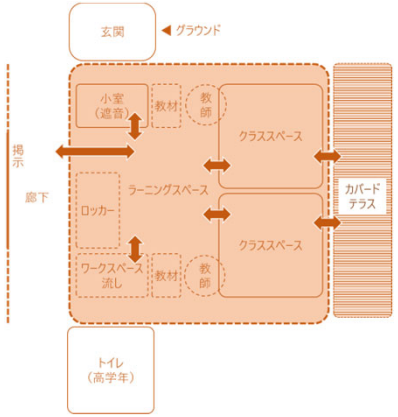
各学年20人程度、単学級の規模から、諸室をグルーピングして、一体的な空間とする「コモンズ」としてまとめ、様々なスペースで学年や教科等を超えた活動ができる空間構成を原則とする。廊下や中庭も学習や生活のために活用する場所として捉え、視覚的にも物理的にも連続した環境とする。地域が利用しやすい施設とし、ラーニング・コモンズやSTEAMコモンズも開放エリアとする。また、開放区画と避難所として利用する区画を合わせたゾーニングとする。



▲ラーニング・コモンズのイメージ
図書館と多目的ホールをひとまとまりの空間とし、時間や活動に応じて多様な場面がうまれる

▲STEAMコモンズのイメージ
同時に展開する授業が少ないことを活かし、ギャラリーが教科の学びと横断した学びを拡げる

■広いスペースを多様に活用する教室まわり



- 250㎡程度のひとまとまりのコモンズを２学年40人程度で活用する
- クラススペースとラーニングスペースは連続し、一体的に活動できる
- クラススペースは学級（＝学年）が安定して利用できる場所であるとともに、学年を混ぜた活動など、これまでの活動を超えた活動ができる環境とする
- コモンズ内には、クラススペース、ワークスペースに加えて、クールダウン、相談、着替え、遊びなどで利用できる小室を設け、教師・教材スペース、流しスペース等の多様なコーナーを持つ
- 教師スペースやロッカースペースはクラススペースから外に出し、スペース全体を活動に利用でき、４つの壁面を活動のために利用することができる
- 平屋となる構成を活かし、校庭履きをコモンズまわりに備えて、いつでも屋外に出て活動できる
- 上足のまま利用できる屋根のかかった屋外スペース（カバードテラス）を持つ
- トイレやコモンズの下足入れは外に出し、面積の効率化と安定したコモンズスペースをつくる

▲チーム・コモンズのイメージ
２学年の教室まわりをコモンズとしてまとめ、まとまりのあるスペースに多様なコーナーをつくる